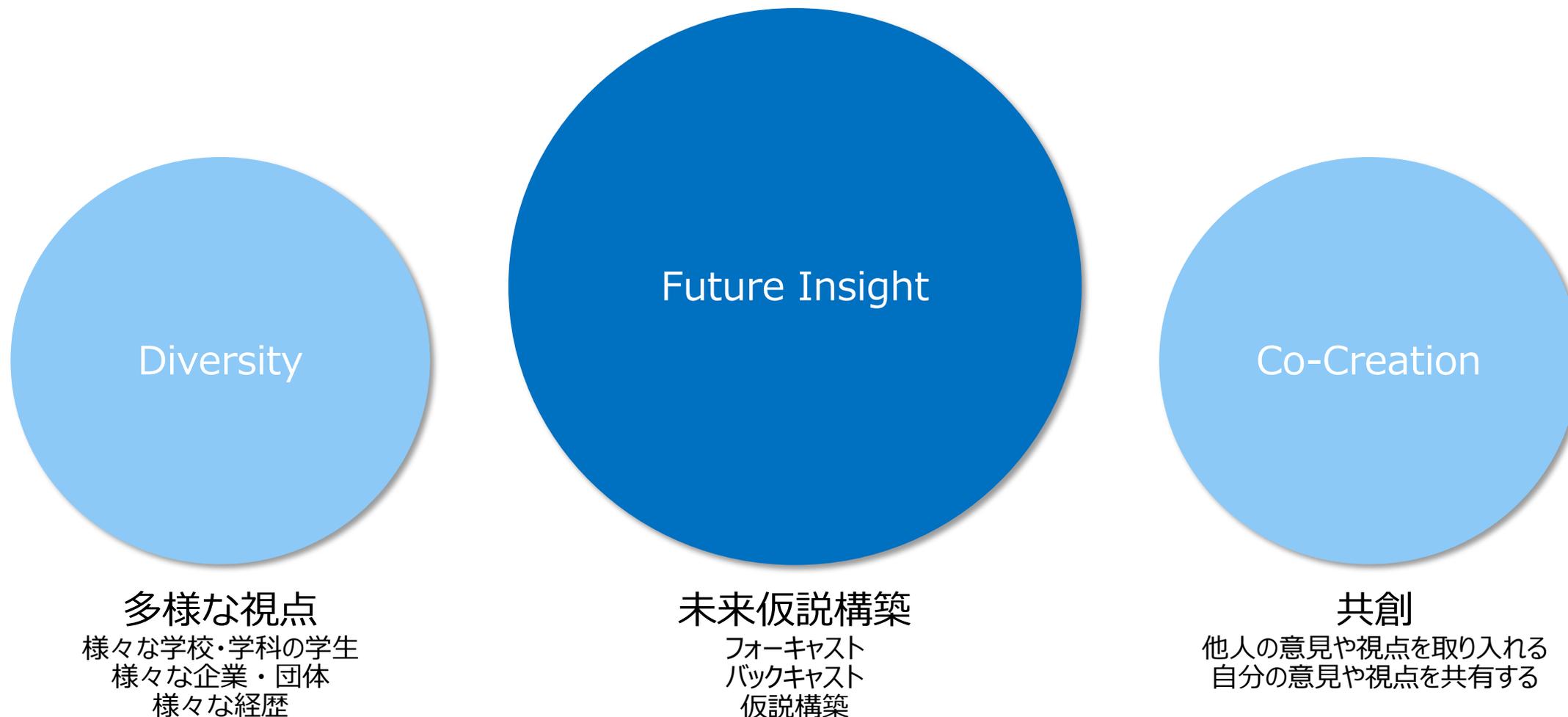




# 国際学生EVデザインコンテスト プレワークショップの進め方

2022年 3月 27日  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
IBM Client Engineering  
Business Transformation Consultant 中山透

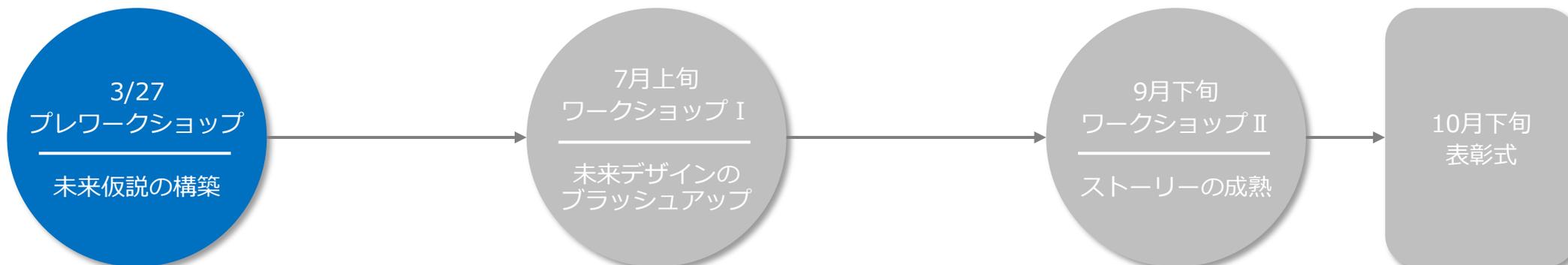




# EVデザインコンテスト期間の流れとプレワークショップの位置付け



エントリー期間



一次審査

二次審査

最終審査

一次作品制作

二次作品制作

最終作品制作

プレワークショップの範囲

個々での作業

未来 이슈の設定

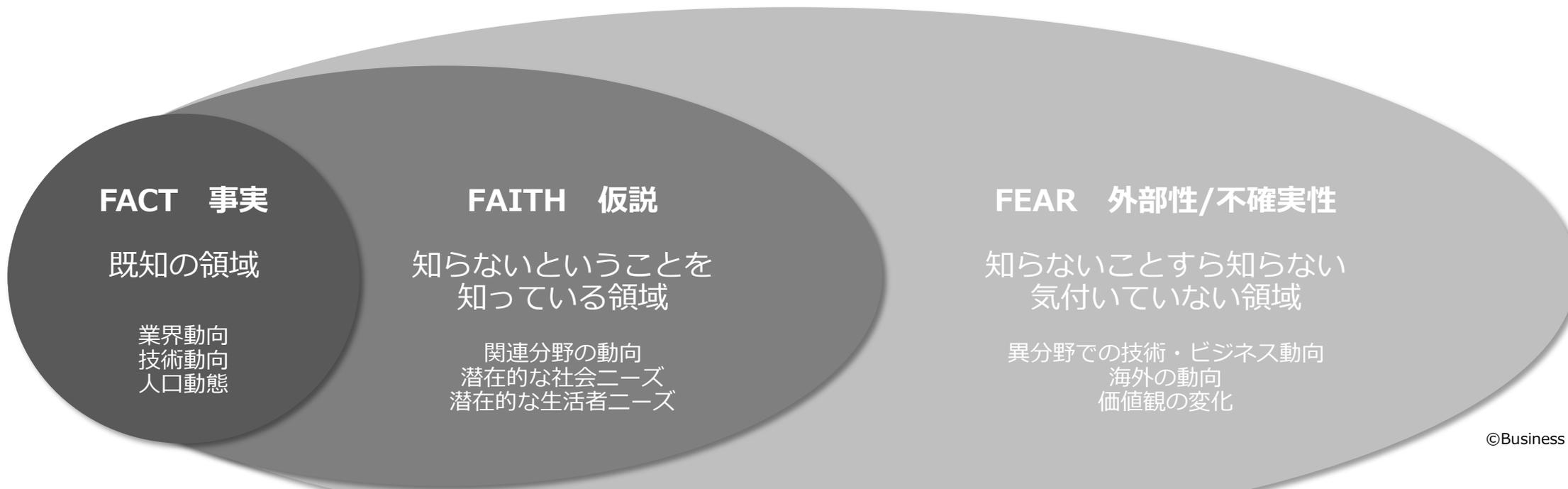
未来探索

想定外変化の仮説

未来シナリオ創発

コンセプトの策定

プレワークショップでは未来仮説の構築を一緒に実施します。  
後日に未来仮説の構築を納得いくまで繰り返す事により、未来仮説を洗練させていってください。



©Business Futures Network

線形未来予測  
インサイド・アウト発想

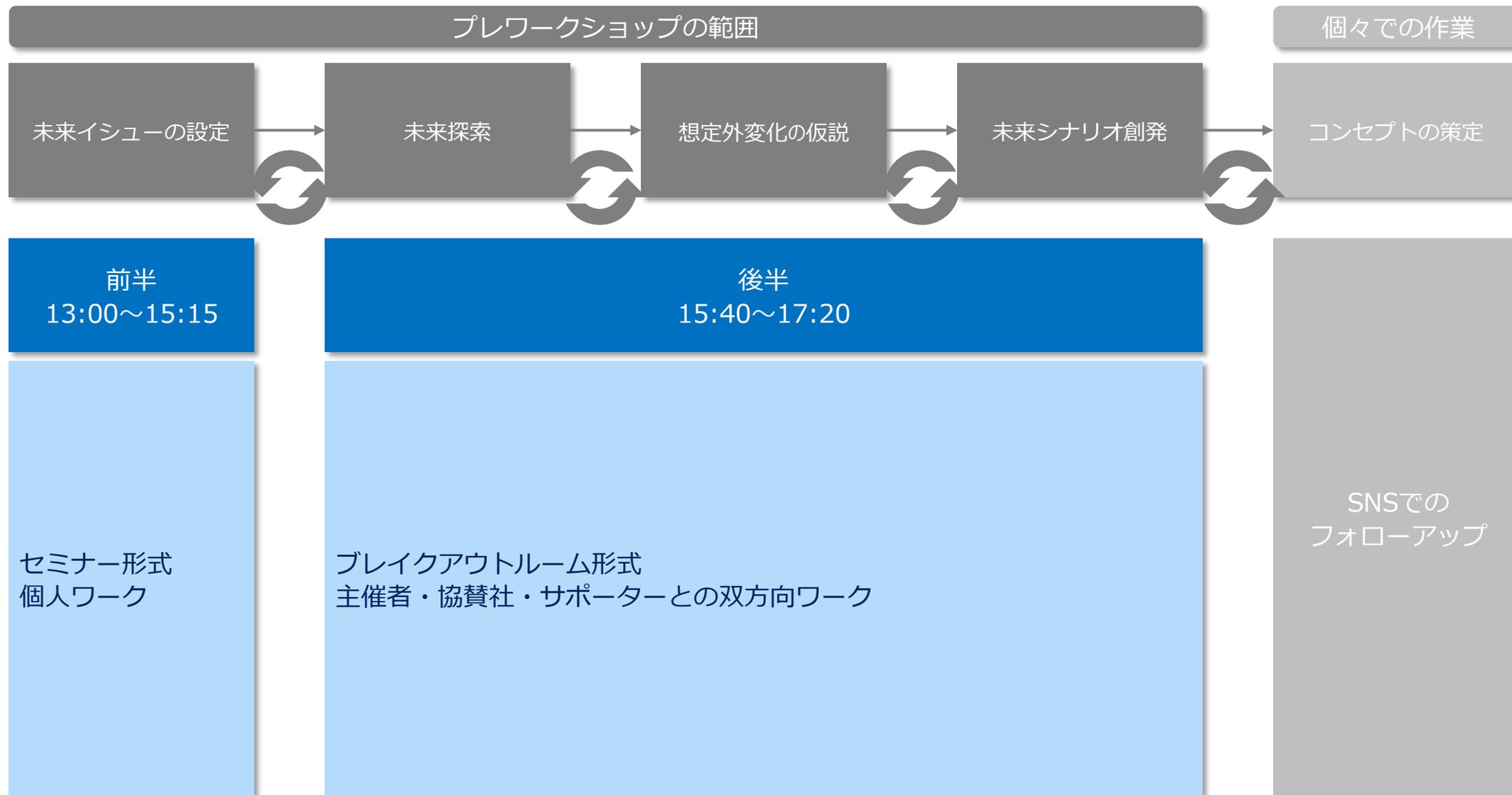
有識者へのヒアリング  
各種調査



非線形未来予測  
アウトサイド・イン発想

未来探索  
SF映画・SNS・ブログ

# プレワークショップの進め方 ～全体の流れ



## 未来イシュー

インサイド・アウト発想で行う、EVの未来を考える上での主要な論点となる **変化** に関する初期仮説

### 仮説の材料

基調講演・企業のプレゼンから

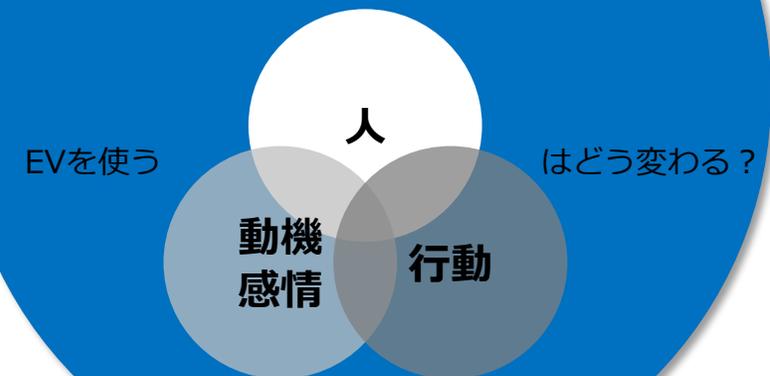
企業のロードマップ  
調査・マクロデータ

<i>Politics</i>	政治的要因
<i>Economy</i>	経済的要因
<i>Society</i>	社会的要因
<i>Technology</i>	技術的要因



### 切り口

2040年に向けて



# ワークシート① 未来イシュー（変化の仮説）



ワークシート①の左上に名前を記載し、メモの準備をしてください。  
付箋一つに対して一つのポイントを記載する様にしてください。

変化の主体は何か？

これまではどうだったか？

これからはどうなると考えられるか？

仮説の根拠

- ✓ 仮説の元となったトピック・事象
- ✓ 関連事象としてどの様なことが考えられるか？
- ✓ 制約条件はあるか。あるとしたらそれは何か？

# 後半 ブレイクアウトルームにて未来探索&未来シナリオ創発



3つのブレイクアウトルームを用意しました。  
それぞれ好きな部屋へお入りください。

ブレイクアウトルーム1

人とEV

ブレイクアウトルーム2

社会・環境とEV

ブレイクアウトルーム3

テクノロジーとEV

## 未来探索から想定外変化の仮説づくり

アウトサイド・イン発想のための、未来に起きそうな事のスキャンニングとその調査から得られた **変化** の仮説づくり

## 未来シナリオ創発

前半のインサイド・アウトと後半のアウトサイド・インを組み合わせ、2040年に生まれる新たなニーズを発想

## 未来探索から想定外変化の仮説づくり

アウトサイド・イン発想のための、未来に起きそうな事のスキャンニングとその調査から得られた **変化** の仮説づくり

### 未来年表

未来予測関連の記事やレポートから今後100年間の「〇〇年に、〇〇になる」といった情報のみを厳選し、西暦年や分野ごとに整理した未来予測の博報堂データベース。

西暦検索

2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2098	2099				
2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2100	2101	2103	2104	2105	2107	2108	2109		
2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2110	2111	2112	2113	2114	2115	2116	2117	2118	2119
2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2120	2121	2122							
2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069								2137		
2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079								2140	2141	
2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088								2150			

2035年 交通の未来 (134 ミライ) 絞り込み: 分野 交通 (134) PAGE 1 2

- 2035 交通 経営再建に取り組む京都市の地下鉄が、単年度収支の黒字化を達成する
- 2035 交通 関西3空港問題に取り組む大阪府が、リニア中央新幹線の開通と同時に大阪（伊丹）空港を廃港する（JR東海のリニア計画を10年前倒し）
- 2035 交通 大阪（伊丹）空港の発着数が中央リニア、九州新幹線の開通で35%減少し、関西国際空港の国際線はアジアの経済成長で75%増加する（関西3空港問題）
- 2035 交通 目的地を入力するだけで到達できる自動運転システムが実用化する
- 2035 交通 直線ルートを選択し、大阪開通をこの年に前倒したりニア中央新幹線の費用対効果が1.58倍になる（2045年開業の直線ルートは1.51倍。伊那谷ルートは1.24倍）
- 2035 交通 この年までに米国人人口の8割が高速鉄道を利用できるようになる（25年以内）
- 2035 交通 茨城県の公共交通輸送人員が2010年比で23.6%減少する

未来年表から気になるトピックを抽出

MURALに1トピック1付箋で書き出す

## 未来探索から**想定外変化**の仮説づくり

アウトサイド・イン発想のための、未来に起きそうな事のスキャンニングとその調査から得られた **変化** の仮説づくり

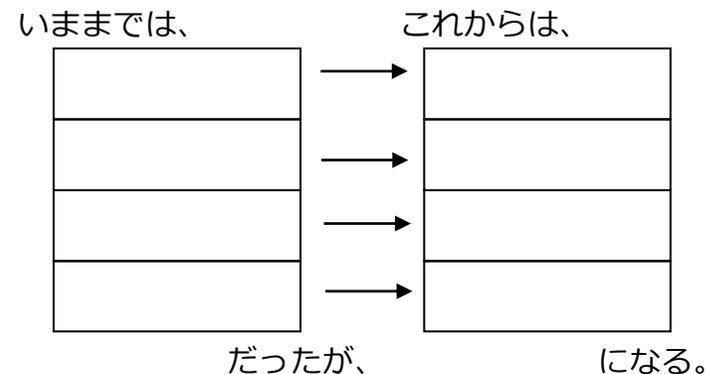
### 未来変化仮説を象徴するタイトル

#### 概要

- ✓ その未来変化の主体は？
- ✓ その未来変化の具体的なシーンは？

※キーワードや箇条書きで結構です

#### 変化のポイント



**背景になる事象・トピック** 元になった未来年表トピック、企業専門家のプレゼン・コメントなど

# 未来シナリオ創発



前半と後半のワークシートを参照し、その交差点に生まれると想定される新たなニーズをできるだけ多く書き出してください。



